

「私のお気に入り」は、協会ホームページ内（<http://www.ha-aaa.jp>）の「京口門日記」にカラー版を掲載しております。



## 第74回 アマチュアに引退はない？

### プロフィール

座右の銘：継続は力なり

開原総合設計事務所  
所長 米丸 剛司



80歳を過ぎた母親が「40歳になればボール蹴りをやめるだろう」といつも言っていたサッカーを60歳を過ぎた今でも続けています。これまで続けられたのは、大きな怪我をしなかったことと妻や子供達に理解があったことです。クリスマスプレゼントとして娘にもらったスパイクを見せるとチームメイトから驚きの声が上がりました。それともうひとつ、広島県ではシニアサッカー大会が平成15年から始まり、今ではシニア40・50・60と三つのカテゴリーに分かれてリーグ戦が行われているのです。（昔、国立競技場で応援していた元日本代表の方もおられます。）新たにシニア70を作ろうという動きもあって、私などはまだまだ先輩達の足元にも及ばないのです。



表彰式後、凄いチームメイトと

「サッカーをやっています」と言うと皆さんが「休みも無くよく走れますね」と言ってくださるのですが、マラソン選手ではないので休みなく走るということはありませんし、できません。試合時間はシニア40は25分ハーフ、シニア50からは20分ハーフで、Jリーグ等の一般社会人のゲームの半分以下（小学生と中学生の中間ぐらい）なのです。一度ベンチに下がって呼吸を整えてゲームに復帰する再交代も認められていますし、使用するボールも一般球より軽いボールを使用します。同じなのはグラウンドの大きさとファウルだけです。シニアでもプレーできる工夫があるのです。



第16回全国シニア（60歳以上）サッカー大会 2016年6月4～6日

もちろん現役の時の様なプレーが出来るわけではありません。昔はボールが言うことを聞いてくれましたが、今はいくら大きな声を出してもボールは飛んでいってくれません。Jリーグの選手のように変化させてボールを落とすのではなく、引力に負けて落ちる。強風の中では前にボールが進まない。相手との接触プレーでもファウルを受けて倒れるのではなく、バランスを崩して倒れることの方が多。それでも、グラウンドでボールを蹴るのが楽しいのです。同じ世代の相手選手からボールを奪ったり、ドリブルで抜き去ったり、ボールをうまく止めることができたり、仲間にうまくパスできたり、思いのほかボールが飛んだり、ゴールを決めたりと、出来なくなったことより、出来たことの喜びが大きいのです。

50歳になった三浦知良選手がサッカーを続ける理由が「もっとサッカーがうまくなりたいから」と言われていましたが、すごく共感できます。高校生の時の様になりたいとは思いませんが、去年の自分よりうまくなりたい。去年の自分を越えたい。プレーできる残り時間が少なくなった分だけ、うまくなりたい欲求が強くなってきます。

チームの仲間達やサッカー大好き人間達と少しでも長い時間、ボールを蹴りあってゲームを楽しめたらと思いつながりながら、練習を重ねています。(夜、一人での自主練習でランニングしている時は「なんでこんなことやってんだらう」と思うことは多くなってきましたが・・・)

この文章を読んでくださった皆様、どこかの試合会場で見かけたら声をかけてください。そして、時間に余裕のあるときにはスタンドでプレーを観て声援(大笑い)をお願いします。

私にとってサッカーボールは一生の友達になっています。



大会パンフレットとオリジナル賞状

会員の皆様、「私のお気に入り」の投稿を随時募集しております。  
協会(電話)082)221-0600)までお問い合わせください。